

こすもす通信



No.128

2015年3月 コスモス会

〒880-0805

宮崎市橋通東2丁目4-6 古賀ビル2F

Tel&Fax 0985-89-0336

090-7458-0926

E-Mail cosmos-ciao@jupiter.ocn.ne.jp

<http://miyazaki-cosmos.jimdo.com/>

3月例会を開きました（3月14日）

中学生の子どもさんを持つお母さんが何人か参加しており、その他の方も中学生の時に子どもさんが不登校だった方が多かった例会になりました。



宮崎県の中学校の生徒数は33,081人で、前年度より641人減少、5年前より2,941人減少しています。

平成24年度間の30日以上長期欠席者数は982人（対前年度37人増加）で、全生徒数に占める割合は2.91%となっており、前年度より0.18ポイント上昇している。

このうち、30日以上不登校者数は830人（対前年度12人減少）で、全生徒数に占める割合は2.46%となっており、前年度より0.02ポイント上昇している。（平成25年度学校基本調査より）

子どもの数が減っているのに不登校の割合は上昇しているのです。

どの年度も中学校における不登校の数は小学校に比べ、急上昇しています。

例会では、年度替わりの時期でもあり、学校との関係で親たち、本人が希望することと、学校の対応に微妙にずれが生じていることが話されました。新しい先生にどんな引き継ぎがされているのか、疑問も出されました。

また、親の心配と子どもの苦しんでいることにもずれがあり、子どもの「安心」とは何か、考えさせられました。

来月の例会は20周年記念の講演会になります。

残りあとわずかです。お早目の参加申し込みを。

4月11日講演会の案内を同封しています。

「全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in おきなわ」参加報告

K.M. (男)

平成27年2月21、22日に沖縄で行われた本交流会に参加した。今回私はひきこもりからの回復過程の重要な一歩として就労支援という問題を中心に学んだ。

1日目のオープニングシンポジウムでは、今の社会が嫌で引きこもった人を、その同じ社会に復帰させることが妥当か？という問いかけがあった。「人を排除する社会」から、「包容力あるコミュニティー」に社会そのものが変化する必要性が語られた。また、仕事を起こす場合、引きこもっていた彼らに「合った仕事」という視点だけでなく「地域に必要な仕事」という視点も大切で、そのような仕事は地域の人が喜び、ひいては仕事をした本人も満足感をえられるとの考えが述べられた。

初日後半の分科会では「就労と仕事おこし」を選択した。北海道のNPO法人

コミュニティーワーク研究実践センターからは、困っている若者が困っている地域の手伝いをするところに仕事ができるという報告があった。例えば農業や、雪かきの仕事等である。どんな仕事も断らず、なんとかする。というのが彼らの基本方針で、「半人前賃金」で請け負うことで農家の人たちにも「ゆっくり成長する」ことを受け入れやすくしていることが述べられた。地域の人々が若者と関わる仕組みが大切であるとの考えであった。一方で、このような活動に持続性を持たせるためには財源の確保が問題であることも述べられた。

この点に関しては、和歌山のNPO法人ハートツリーから、運営する支援センターの利用料を月額10,000円徴収していること、手作り雑貨のネット販売やカフェの運営のほか、生活困窮者支援制度といった公的制度の利用も行っていることが報告された。制度利用の問題点としてはその制度の仕組みによって、活動に制限がかかる点と、支援が有期である点が挙げられた。

神奈川のK2インターナショナルは、株式会社も傘下に持つ大きなグループであるが、まず、「生活・住まいの安定」のため、10カ所の寮を作り、100名の若者とスタッフが共同生活を送っていることが報告された。一緒に働いて1円でも多く稼ごうとの姿勢である。スタッフの多くが引きこもり経験者とのことであった。

次に公的支援から脱却し独自の運営を行うために財源を確保する必要性が語られた。支援は有償で行うことが基本であり、サービスを受ける側も覚悟を持つべきとの考えであった。「してもらって当たり前」ではうまくいかないことである。

これら若者たちやスタッフの食事を作る必要があるが、そのことを地域に開放することで食堂という仕事をおこしたことが述べられた。食事を一食250円という安価で提供する代わりに、一般利用者には1口1,000円のサポーターズカードを購入してもらい、地域の住民に若者の支援者になってもらうという発想が語られた。この他、お好み焼き屋や大学の学生食堂を運営しているとのことであった。

交流会2日目の支援者養成講座は、元立命館大学教授の高垣忠一郎氏の講座を受講した。

カウンセラーとして相談者を見るとき、相手を社会内存在としてとらえ、過去（失敗・後悔）や未来（理想・あるべき姿）のことばかり考える「世間相場」の考え方と、その人を宇宙内存在としてとらえ、「いま、ここ（あるがままの自分）」を重要視する「生命相場」の考え方があるとのことであった。世間相場での物差しでは「いま、ここ」を生きること、楽しむことができない。「いま、ここ」を生き、時間（過去・未来）を忘れて楽しむことでエネルギーが蓄えられる。

いわゆる専門家による「教育相談(Consultation)」では、「こうしないとイケない」といった「指示」がなされるが、このことにより親はますます萎縮する。「カウンセリング(Counseling)」ではまず(母)親の話聞き、ねぎらい、引きつった心をほぐし柔軟にする。引きつったままでは正しい知識であっても心に落ちていかない。「人」への援助であり「問題」への援助ではない。しっかりと聞いてあげることで相手の心が軽くなり、親ももっと子供の思いを聞いてあげようと気づく。

まず、悩みを持った親にあるがままの気持ちを表現してもらい、それをしっかりと受け止める。「受け止める」ことは「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感を育てる。(母)親の自己肯定感が育てばありのままの子供を受け入れられるようになる。このことが子供の自己肯定感を育てる。このような存在レベルでの自己肯定感の重要性を改めて学んだ。

私は以前より不登校・ひきこもりの子供たちをただ今の社会に送り返すだけが問題の解決なのかと疑問に感じていた。社会が彼らを受け入れないなら、彼ら自身の社会を作るという発想も必要ではないかと感じていた。ただ、具体的にどのようにすべきかについては、はっきりとしたアイデアはなかった。

今回の交流会では社会に存在している「既製」の仕事につかせようとするのではなく、彼らの特性にあった仕事を作り出すことの重要性が多く報告者から語られた。その際に、地域が必要としている仕事は何か？という視点、地域の人々に若者たちと関わってもらえる仕組みを作るという視点が必要であると学んだ。

このように地域と関わりながら独自の仕事おこしを行っている団体が各地にあることを知り、大きなヒントを得ることができたと思う。

また、高垣先生の支援者養成講座では、改めて原点に立ち返り、存在レベルでの自己肯定感を育てる重要性を再認識させられた。

とても密度が高く、学びの多い2日間であった。

チャオだより

子ども&若者の居場所・就労支援・
学習サポート

よろしかったら、少し元気になった
子どもさんに紹介してください。



ふらっと居場所・チャオへ

毎週水・金(午後1時~4時)

利用料は毎月2,000円

何をしても何もしなくてもOK ゆったり、まったり、おしゃべり、ゲーム、
ピアノ、お茶を飲んだりお菓子を食ったり、好きなように利用しています。



♥♥♥ お誕生会やってます♥♥♥

毎月発送作業の後は『若者話し合い』を行っています。また、誕生月の仲間がいる時は、誕生会をやって
います。ハッピーバースデーを歌うときは少し照れくさくもあるけれど。。



3月11日は、コスモス会&チャオのみなさん10名で「東日本
大震災追悼、祈りの奏で」に参加しました。

会場となった平和台公園では、黙とうの後、祈りの鐘、チェロの
演奏が行われ、最後参加者で輪になってウェーブを作りました。
祈りは東北、フクシマへ届くと信じています。

今年も田んぼが始まります

4月19日(日)10時集合
綾町北条さん宅



4年目になる米作り。田植え、草取り、稲刈り、脱穀、
どの工程も、お天道様次第。
風に吹かれ、陽に照らされ、雨の恵みを受けて育つ稲。
いつの間にか、人間も育っていました。

盛り上がっています クロスワードパズル

2		1
1		
3		

Sくんが買ってきてくれたクロスワードパ
ズル。

仲間たちが夢中でやっています。

最近チャオの仲間が増えて居場所もにぎや
かになってきました。

記念行事のクッキー作り

4月8日(水)9時半~
古賀ビル3階



記念行事のささやかな引き出物作
りをします。

学習支援(個別)



時間は相談の上・訪問も可

大学のご協力を頂き、今年度も通信高校に
通う若者がサポートを受けています。

その人のペースに合わせますので、安心し
て勉強できます。

いつでもご相談を。“はじめの一步”始めま
せんか。

4月 親の会例会 は 4月11日(土) 13時半~17時

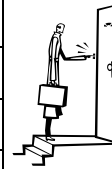
コスモス会 20周年記念講演会になります。

場所 市民プラザ4階大会議室(市役所隣り)

5月例会 5月9日(土) 市民プラザ4階小会議室(市役所隣り)

今後の例会等日程

3/14(土)	3月例会 13時 市民プラザ小会議室
4/11(土)	コスモス会 20周年記念講演会市民プラザ大会議室
5/9(土)	5月例会&総会 13時 市民プラザ小会議室
6/13(土)	6月例会 13時 市民プラザ小会議室
7/11(土)	7月例会



訪問(アウトリーチ)
まずはご相談を。
ご希望の方は
090-7458-0926
(亀田)まで。

3・4月スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
15	16	17	18	19	20	21
			相談日 チャオ	発送作業 若者話し合い	パン作り	
22	23	24	25	26	27	28
			相談日 チャオ		チャオ	
29	30	31	1	2	3	4
			相談日 作業		チャオ	
5	6	7	8	9	10	11
			お菓子作り		チャオ	講演会
12	13	14	15	16	17	18
			相談日 チャオ	発送作業 若者話し合い	チャオ	
19	20	21	22	23	24	25
田んぼ			相談日 チャオ		チャオ	

コスモス会を支えてください。

年会費 3,000円 おもに毎月発行のこすもす通信発行費に充てられます。

内訳(会費・寄付・その他)をお書きください。ATMだと、振り込み料は無料です。

郵便振替口座 口座番号 01780-1-132375

口座名称 コスモス会